

事業所名

トーマス・ジュニア所沢教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念		障がいと共に生きる Live with disabilities											
支援方針		卒業後の生活を見据え、ソーシャルスキルトレーニングにより社会性を身につける機会を多く設け、また身辺自立などの生活に必要な技能の習得、遊びや外出活動を通して余暇活動の充実などを集団や個別で対応し、支援していきます。											
営業時間		平日	11	時	30	分から	17	時	15	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	10		00		16		00				
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	食事・排泄・衣服の着脱や身だしなみ・身の回りを清潔にすること等の基本的な生活に必要な技能を習得し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援する。生活の中で、様々な遊びや体験を通じた学びが促進されるよう環境を整え、特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造する。こちらからの促しのみでなく、ご自身での判断や行動を習得できる機会を多く設けていく。定期的に手洗い指導を行い、適切な手洗いが定着するような機会を設ける。											
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、サーキット・リズム遊び・ダンスによる体力・筋力の維持や強化を図る。感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りによる環境調整等の支援を行う。身体を動かすことでの気持ちの発散や解消に繋がるよう支援する。TikTok等から流行りのダンスを取り入れ、身体を動かす楽しみを味わってもらう機会を設ける。											
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。感覚や認知の方より、コミュニケーションの困難性から生じる行動障がいの予防及び適切行動への対応を支援する。小集団での活動を通して、集団生活のルールを守る事や共に行動する経験を積めるよう支援する。											
	言語コミュニケーション	言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り等を用いて日々のやり取りが行えるような機会を設け、コミュニケーションに必要な基礎的な能力が身に着くよう支援する。周りのコミュニケーションを楽しむこと、伝わった喜びなどの成功体験を多く積める機会を提供していく。発達段階に合わせて、言葉の使い方や周りの気持ちを考えられるSST（ふわふわ言葉・ちくちく言葉）を取り入れていきます。											
	人間関係社会性	遊びやSST等を通じて社会性の発達や対人関係の構築を支援する。小集団の中でコミュニケーションを学び、時に介入し他者の気持ちや意図を理解できるような機会を設け提供していく。社会性を育む為に、外出プログラムを計画・実施していく。ご家族以外での外出の経験を通して、適切な行動が出来るよう支援する。成功体験を積み自己肯定感を上げられるような機会を多く取り入れていく。											
家族支援		ご家庭の悩みや困りごとなどに対する相談援助、ご家族のレスパイトや就労等による預かりニーズに対する為の延長支援を行う。保護者会を通じて教室の過ごしをスライドショーにてお伝えし、保護者同士の交流の場を設ける。						移行支援		卒業後の移行先との支援方針・支援内容の共有や、利用児童の状態・保護者の遺構、支援方法についての伝達を行う。移行先や進路の選択についての本人や家族への相談援助を行う。			
地域支援・地域連携		ご利用児童の通う学校や他事業所との連携や情報交換を行い、統一した支援や環境調整等に関する相談援助を行う。また生活環境を踏まえ必要に応じて児童相談所や子どもセンターとの連携を行う。年間行事では、地域の施設訪問や体験を行う。						職員の質の向上		年間研修計画を定め、近隣の事業所との勉強会、虐待防止（身体拘束適正化）・感染症対策などの研修を実施する。社外研修も積極的に取り入れ、スタッフのスキルアップを図る為の促しを実施する。			
主な行事等		避難訓練（年3回～5回）・周年パーティー・お正月イベント・夏祭り・ハロウィン・クリスマスなどの季節に合ったイベントを毎月開催 SSTや体験学習を通して自己肯定感を上げられるよう、外出や様々な活動を計画し成功体験が積める行事を多く組み立て、支援していく。											